

## 前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 07 安心できる暮らしの実現

<b>主管課長職・氏名</b>	保険年金課長 田沼 政司
<b>関係課長職・氏名</b>	

1. 基本施策の平成29年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

市民が幸福を実感するための要素に、「健康」「所得・収入」などがあげられています。心身の健康には、市民一人一人が自分の健康状態を把握し、健康づくりに取り組み、病気やけがで治療が必要となったときは、安心して医療を受けることができる制度があることです。経済的安定には、老後や万が一の場合に、年金という経済的基盤が確保されることが必要です。

必要な医療を受けることができ、経済的安定が保障されることで、市民一人一人が健やかに安心して暮らせる状態を目指します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	B	
			57	58.4	58.4	-	-	38.2	
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	C	
			57.6	64.5	60.1	-	-	△10.0	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 02070100 安定した医療制度の運営と実施 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	B	
			57	58.4	58.4	-	-	38.2	
2	幸福 02070100 安定した医療制度の運営と実施 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	C	
			57.6	64.5	60.1	-	-	△10.0	
3	暮らし 02070200 安心して医療を受けるための助成 自分が心身ともに元気と感じる人の割合 単位 %	57.1	58	58.6	59.4	60	60.5	B	
			57	58.4	58.4	-	-	38.2	
4	幸福 02070200 安心して医療を受けるための助成 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	61	62	64	66	68	70	C	
			57.6	64.5	60.1	-	-	△10.0	
5	暮らし 02070300 生活を支える年金の受給権確保の支援 老後が不安なく暮らせると思っている人の割合 単位 %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	A	
			15.7	16.6	21	-	-	660.0	



## 前期基本計画 平成29年度 基本施策方針評価書

政 策 : 02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策 : 07 安心できる暮らしの実現

主管課長職・氏名	保険年金課長 田沼 政司
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての平成29年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険特定健康診査の受診率は若干ながら前年度より向上しましたが、これは継続して実施している特定健康診査受診率向上重点地区を設けての巡回指導等の効果と思われ、生活習慣病とその予備軍の早期発見、疾病予防と生活習慣病の改善を支援することができました。</li> <li>・各種医療費給付事業の受給者に対し、現物給付や償還払いにより所定の医療費給付を行うことで、受給者世帯の経済的な負担を軽減することができました。</li> <li>・老後や万が一の場合に年金という経済的基盤が確保されることは、市民が幸福を実感するための重要な要素であることから、広報たぎざわを活用して、国民年金被保険者に対し各種届出や給付の相談について、啓発を行いました。</li> </ul>	

## (2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査等により、健康づくりを支援し、医療費の適正化に努めます。</li> <li>・子ども医療費給付制度の給付対象者拡大について、総合的に検討して参ります。</li> </ul> <p>【重点課題に対応した達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査や特定保健指導等により、健康づくりの支援を行い、医療費の適正化に努めました。</li> <li>・県内他市町村の市町村単独での給付対象者の拡大や所得制限の撤廃などの情報収集を行いました。</li> </ul>	

## 3. 基本施策の実現に向けての平成29年度実施後での変化を認識する

## (1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度から国民健康保険の広域化により、都道府県が財政運営の責任者になる一方、市町村はこれまで通り保険給付や保健事業の実施、国保税の賦課徴収を行います。</li> <li>・県内他市町村では、子ども医療費給付事業の給付対象者を中学生または高校生まで既に拡大しているか、もしくは拡大する方向で進めており、平成31年8月には小学生までとしている県内市町村は滝沢市のみとなる見込みです。また、盛岡管内の市町では、子ども医療費給付事業の所得制限を既に撤廃していることから、給付対象者の拡大と所得制限の撤廃について検討が必要であります。</li> </ul>	

## (2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策達成のため、引き続き基本施策の実施が必要であります。</li> </ul>	

## 4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成31年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年3月に、平成30年度から35年度までの計画として「滝沢市国民健康保険第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」と「第3期特定健康診査等実施計画」を策定しました。これにより、特定健診の受診率と特定保健指導の実施率の目標値が改められたことから、新しい目標値をクリアできるよう取り組みを強化する必要があります。</li> <li>・子ども医療費給付対象者の拡大や所得制限の撤廃に見合う必要な財源を確保することが重要になります。</li> </ul>	

